

試験名称	金属系あと施工アンカーの引張試験									
依頼者	販売製造元									
試験体	試験項目	試験体記号	アンカー			穿孔		全ねじボルト (接合筋)		数量 本
			全長mm	本体径mm	材質	深さ	径	ねじの呼び	材質	
	引張	T	52	φ16.8	鋼製	表-1参照		1/2-13 UNC	SS400	5
参照：表-1（穿孔深さ及び穿孔径） 図-1（アンカーの詳細） 図-2（アンカーの埋め込み位置）										
試験方法	準拠規格：あと施工アンカー標準試験方法・同解説 （一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会） 加力装置：センターホール型油圧ジャッキ，センターホール型ロードセル(容量：100kN)， 反力台，鋼板，球座，テンションバー 測定装置：電気式変位計(容量：50mm，感度： $200 \times 10^{-6}/\text{mm}$ ，非直線性：0.1%RO)，データロガー 参 照：写真-1(試験実施状況)									
試験結果	試験項目	試験体記号	最大荷重時		破壊モード	母材コンクリートの 圧縮強度 (σ_c) N/mm ²				
			荷重 (P_{max}) kN	変位 (δ_{max}) mm						
	引張	T-1	25.8	2.3	A	22.6				
		T-2	25.8	2.7	A					
		T-3	27.6	3.5	A					
		T-4	24.0	3.4	A					
		T-5	25.9	2.4	A					
平均	25.8	2.9	—	—						
注) 1. 破壊モード欄の記号は、次の内容を示す。 A：コーン状破壊 B：アンカー抜け C：アンカー破断 D：接合筋破断 2. *は、母材打設時に作成した、試験体(φ100×200mm) 三本の平均値を示す。 参照：図-3(荷重-変位曲線) 写真-2～写真-6(破壊状況)										
試験日	平成30年 5月 1日									
試験場所	西日本試験所									